

横浜健康経営認証 認証基準

区分	状態像	評価項目		加点条件	1次評価基準		総合評価基準	
		分類	項目		50人以上の事業所	50人未満の事業所		説明
クラスA	経営者が健康経営の概念を理解し、その意思を健康経営宣言等で明文化しているとともに、その意思の具現化が何かしらされている	I 健康経営宣言	1 従業員を経営資源と位置付けて、企業理念や経営方針等に従業員の健康の維持・増進について明文化していますか	はい(公表している) はい(公表していない)	2項目必須	「I 健康経営宣言」及び「II 経営トップの意思の具現化」の両項目を満たすこと	次の基準を全て満たす場合 a 取組状況が1次評価基準に適合しており、その根拠が確認できること b 健康経営に係る明文化の内容が具体的であること (例1)経営者等の意識が、業態や社内文化の状況から、十分浸透している場合でも、明文化していない→× (例2)明文化しているが、内部発信に留まり、外部発信していない→○ (例3)抽象的な表現に留まる→× (「安全」「幸せ」などの表現しかない場合も×) なお、クラスAを満たさない場合、「認証外」とする。	
			II 経営トップの意思の具現化	2 経営トップの健康経営に対する意思が具現化されていますか				はい
クラスAの基準をクリアし、さらに「III 健康経営推進体制」「IV 健康課題の把握と取組」のそれぞれの項目で基準をクリアすることが必要								
クラスA	健康経営を実践する体制を整え、職場特性等を踏まえ、事業所としての従業員の健康課題を適切に把握し、その課題に即した対策を組織として取り組んでいる	III 健康経営推進体制	1 健康経営を進めるために、組織としての位置づけはありますか	はい	3項目以上(1,2は必須)	2項目以上	一次評価は自己申告内容で処理	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会設置要綱や会議録があるなどの形式的要件が整った会議体であるか ・法令遵守に留まる場合でも→○ ・「健康」をテーマとして取り扱う頻度が低くても→○ ・組織図や分担表など、任命されている担当者が客観的に明らかか ・連携状況が明らかか ・セミナーのチラシ、相談記録等で専門家の活用状況が明らかか ・ポスター写し等で、健康情報の提供状況が明らかか ・制度や取組内容が明らかか ・把握状況が明らかか
			2 従業員の健康の保持・増進を行う担当者がいますか	はい				
			3 健康保険組合等との連携をしていますか	はい				
			4 健康経営を進めるために外部の専門家等を活用したことはありますか	はい				
			5 従業員に対して健康情報の提供を定期的に行っていますか	はい				
			6 通院や治療が必要な従業員が治療を継続するための取組を行っていますか	はい				
			7 (非正規社員がいる事業所のみ)非正規社員の健康状態を把握していますか	はい				
		IV 健康課題の把握と取組	1 年1回の定期事業所健診の受診率を事業所として把握していますか	はい	4項目以上(1は必須)	3項目以上	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の定期健康診断の受診率、従業員の特定健康診断の受診率の把握は、基準日から過去1年間における数値を基本とする ・事務局が別途設定した各データ値の統計データ等を目安に、職場特性等を踏まえて、適切に健康課題を把握できているか ・「健康課題を整理ができていない・わからない」→×(自動的にクラスA) ・「健康課題がある」 →①自己申告している健康課題が別途設定した統計データ等と照らし合わせて、概ね過不足がないといえるか ②適切に把握された健康課題に対して、概ね半分程度に対して具体的な取組がされているか。その取組の回数や継続性等において、概ね必要な質・量が確保されているか ・「健康課題がない」 →①別途設定した統計データ等と照らし合わせて、健康課題があると見なされる場合→×(自動的にクラスA) ②客観的に見て健康課題がない場合→○ 	
			2 40歳以上の従業員の特定健診受診率を事業所として把握していますか	はい				
			3 健康診断の結果、要指導および医療になった従業員の割合を事業所として把握していますか	はい				
			4 ストレスチェック結果から従業員の傾向を事業所として把握していますか	はい				
			5 健診結果から従業員の健康状況を事業所として把握していますか	はい				
			6 従業員が抱える体調不良の傾向を事業所として把握していますか	はい				
			7 従業員の生活状況について事業所として把握していますか	はい				
			8 体調不良、病気を理由とした休暇取得の状況を事業所として把握していますか	はい				
			9 上記IV1～8を踏まえ、貴事業所の従業員の健康課題をどう捉え、その課題に対してどのような取組を行っていますか	①健康課題がある(○) or ②健康課題がない(○) and ①の場合は(取組を実施しているのチェック数)/(健康課題のチェック数)≥1/2	必須	必須		
クラスAAの基準をクリアし、さらに「V 取組結果」の項目の全項目をクリアすることが必要								
クラスAA	健康課題に即した取組について、しっかり振り返りを行う仕組みがあり、その結果を適切に評価し、今後の取組につなげられているなど、健康経営に係る取組のPDCAが円滑に循環している	V 取組結果	1 取組内容の振り返りを事業所として行っていますか	はい	4項目必須	振り返りをしっかり行っているか、その振り返りをデータで客観的に評価しているか、また、その結果を次のアクションにつなげているか、それぞれ、PDCAサイクルを循環させるためには必要なものであることから、全て必須項目とした	<ul style="list-style-type: none"> クラスAAを満たすものうち、次の基準を全て満たす場合 a 取組状況が1次評価基準に適合しており、その根拠が確認できること b 取組結果を定性的かつ定量的に評価していること (例1)健康課題に即した取組について、結果を評価している→○ c 今後の取組内容に継続性が期待できること d PDCAサイクルが適切に担保されていること e これまでの取組を継続することにより、今後、数値の改善等の成果が期待できること。ただし、必ずしも、現時点で数値が改善されているかは問わない f 「振り返りの結果から今後の取組方針等を考えている」では、具体的な内容を確認し、PDCAサイクルが確保されていること 	
			2 取組による従業員の変化を把握していますか	はい				
			3 取組前後でデータの変化を把握していますか	はい				
			4 振り返りの結果(上記V-1～3)から今後の取組方針等を考えていますか	はい				